

# 2015-6-4 アヒルの小脳、脳幹

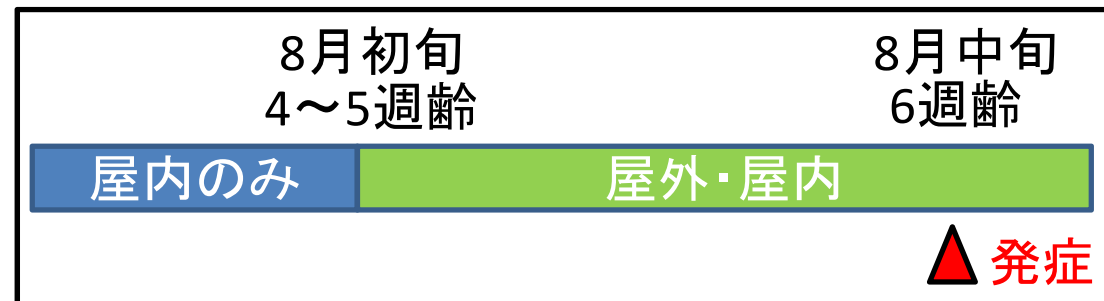
今井直人

**提出機関**: Animal Health Laboratory, University of Guelph, Guelph, Ontario, Canada

**症例**: アヒル(ウェールズハーレクイン種、6週齢)

**病歴**: 8月中旬、約6週齢のアヒル群11羽中7羽が、食欲不振、無気力、呼吸困難を呈し、5羽が死亡。

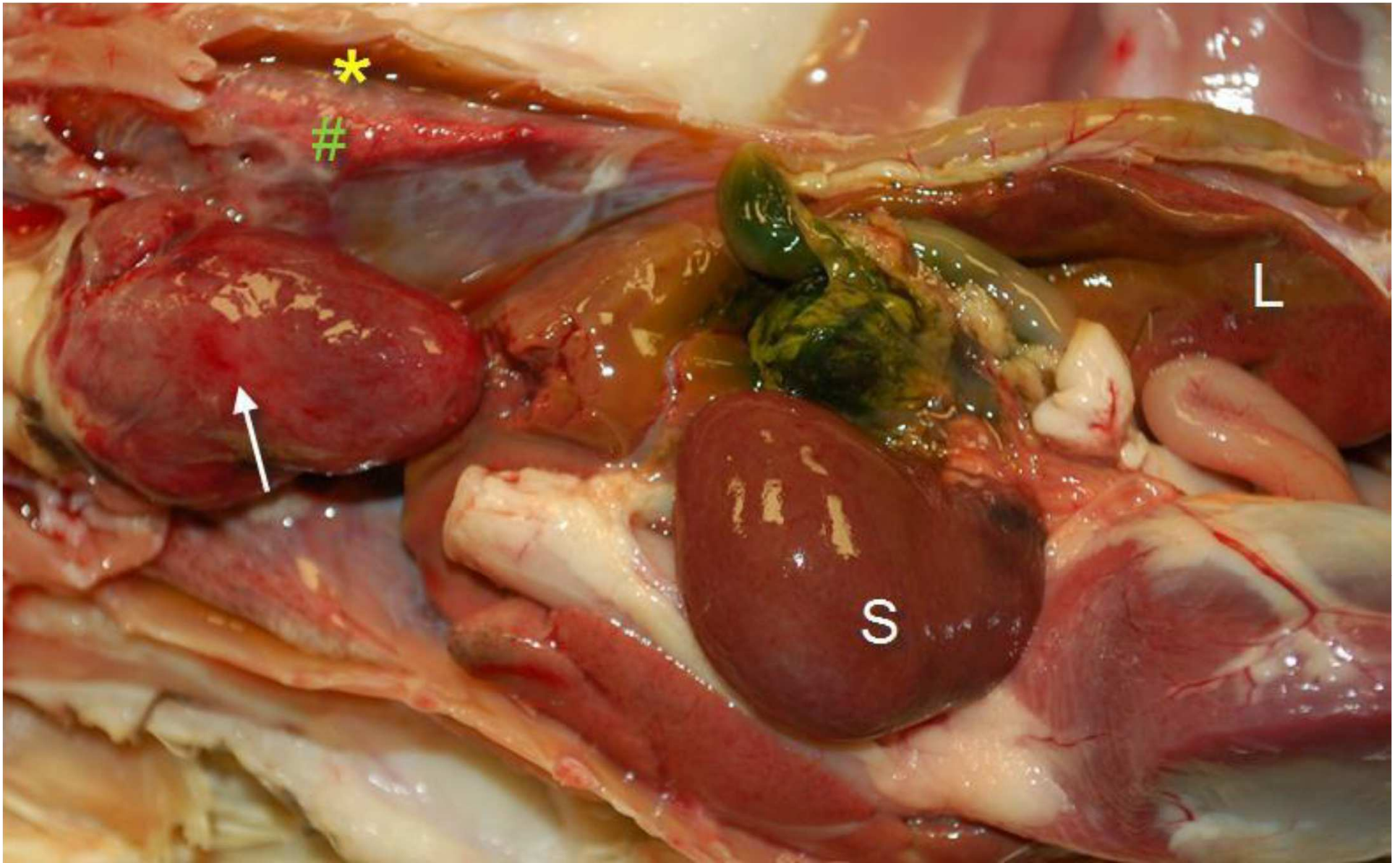
同区画別鶏舎で飼養されていた鶏には変化無し。



**検査成績**: 細菌性病原体: 陰性

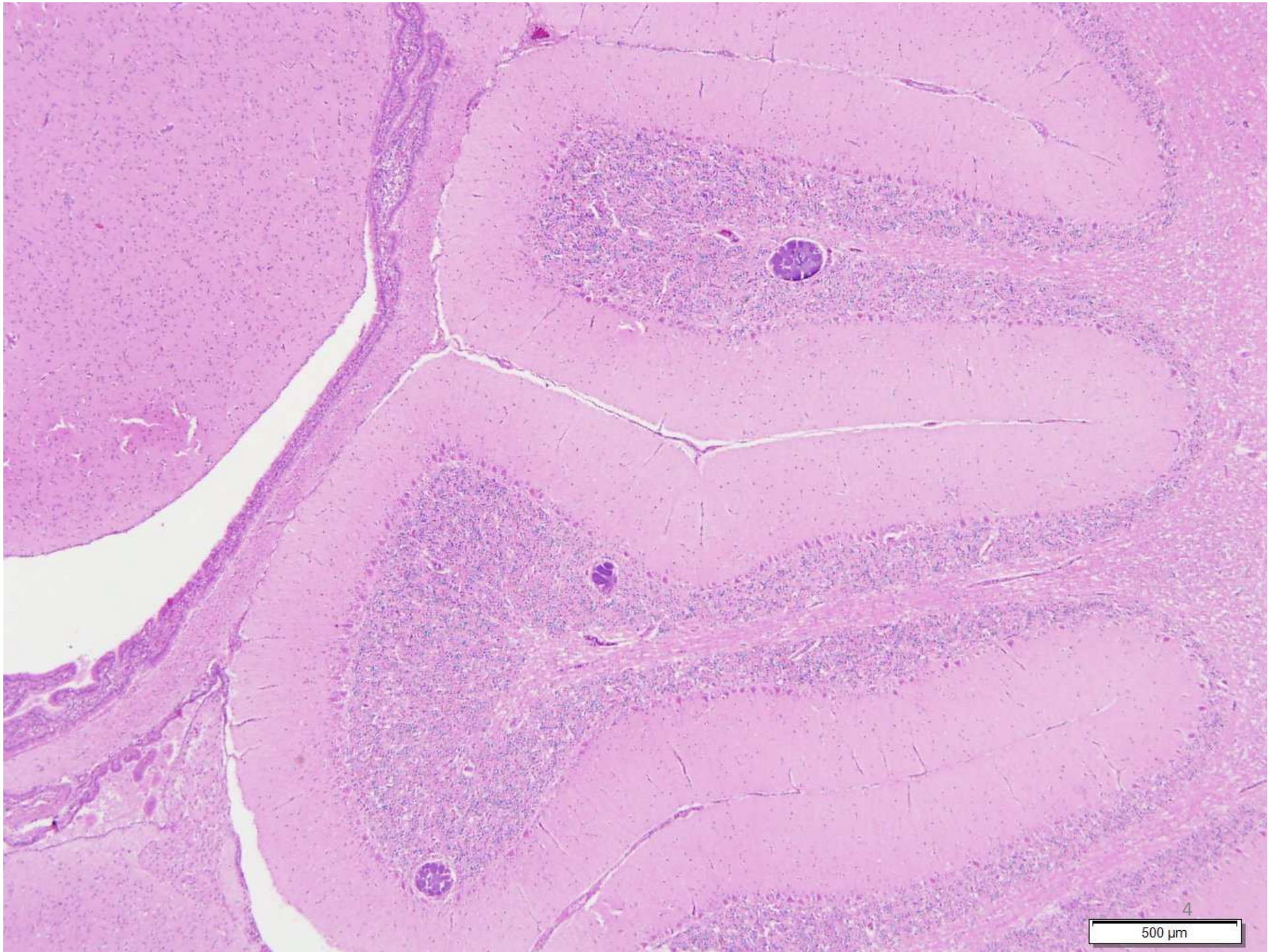
RT-PCR検査: 以下のウイルス陰性

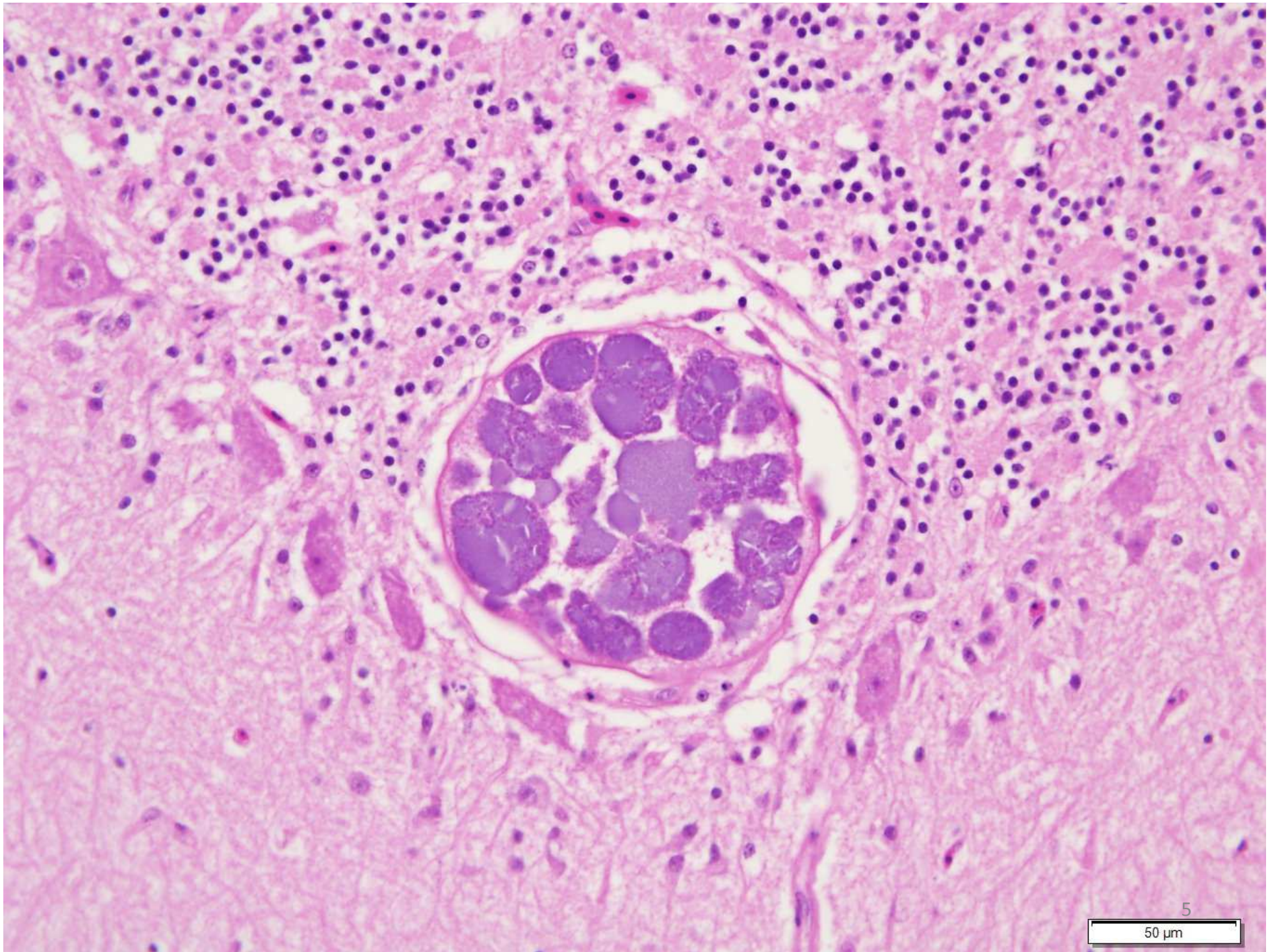
鳥インフルエンザウイルス、ニューカッスル病ウイルス、ウエストナイルウイルス、東部ウマ脳炎ウイルス

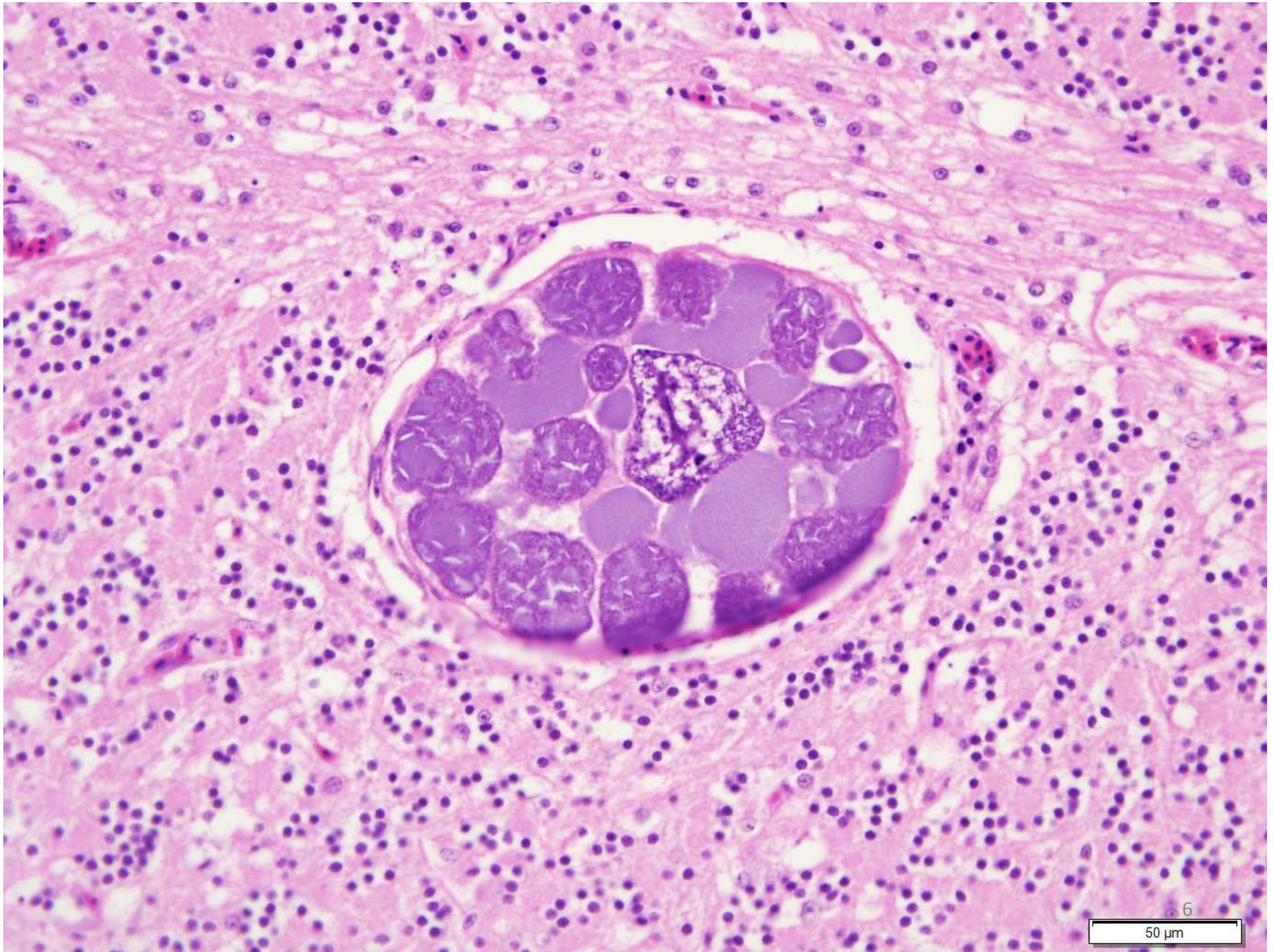


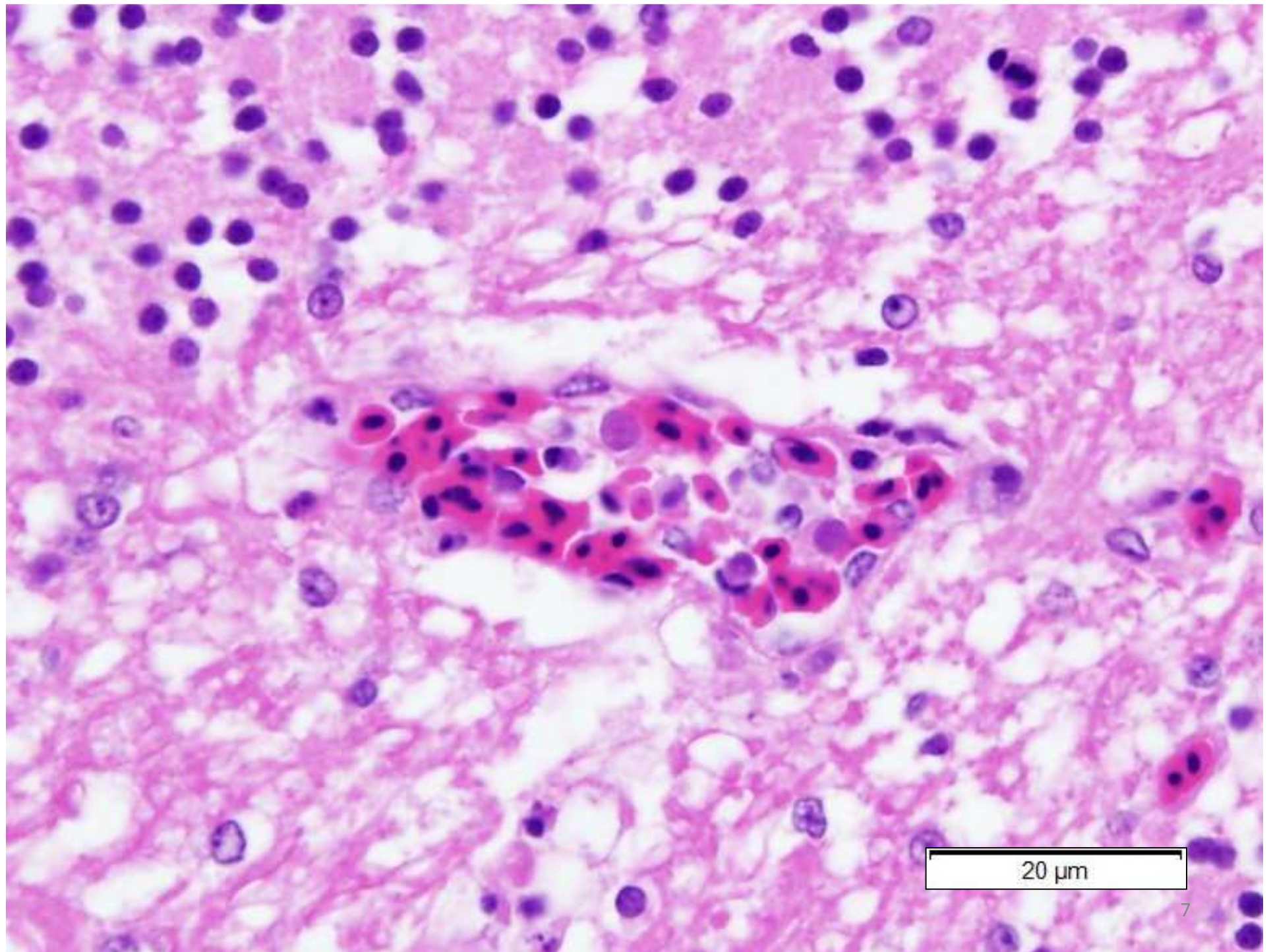


5mm









20  $\mu\text{m}$

## 提出者の診断

Brain: Mild encephalitis with vasculitis and perivasculitis, mild multifocal necrosis with numerous intraparenchymal megaloschizonts

脳: 軽度の脳炎、血管炎および血管周囲炎を伴う、  
多数の実質内メガロシゾントを伴う軽度の多巣性壊死

Liver: Marked acute multifocal to coalescent hepatic necrosis with numerous intraerythrocytic gametocytes and mild erythrophagocytosis

肝臓: 顕著な急性多巣性～癒合性肝細胞壊死、  
多数の赤血球内ガメトサイトと軽度赤血球貪食を伴う

## JPCの診断

Brain: Intraendothelial hemoprotozoal megaloschizonts, multifocal, moderate, with intraerythrocytic gametocytes and minimal perivascular inflammation.

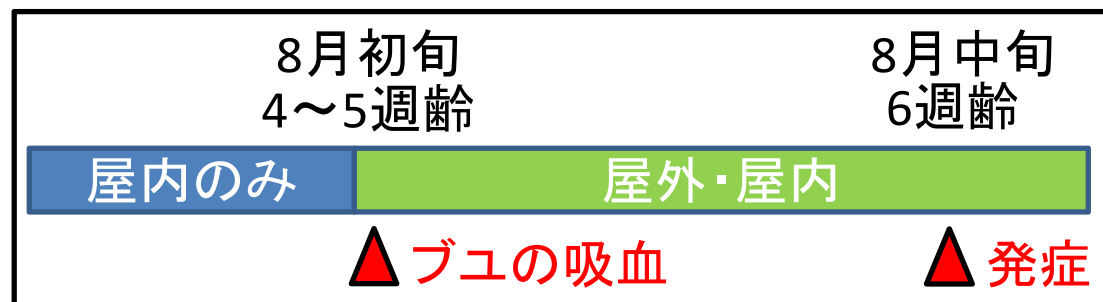
脳: 内皮内の赤血球寄生原虫性メガロシゾント、多巣性、中等度、赤血球内ガメトサイトとごく軽度の血管周囲炎を伴う



## 提出者のコメント

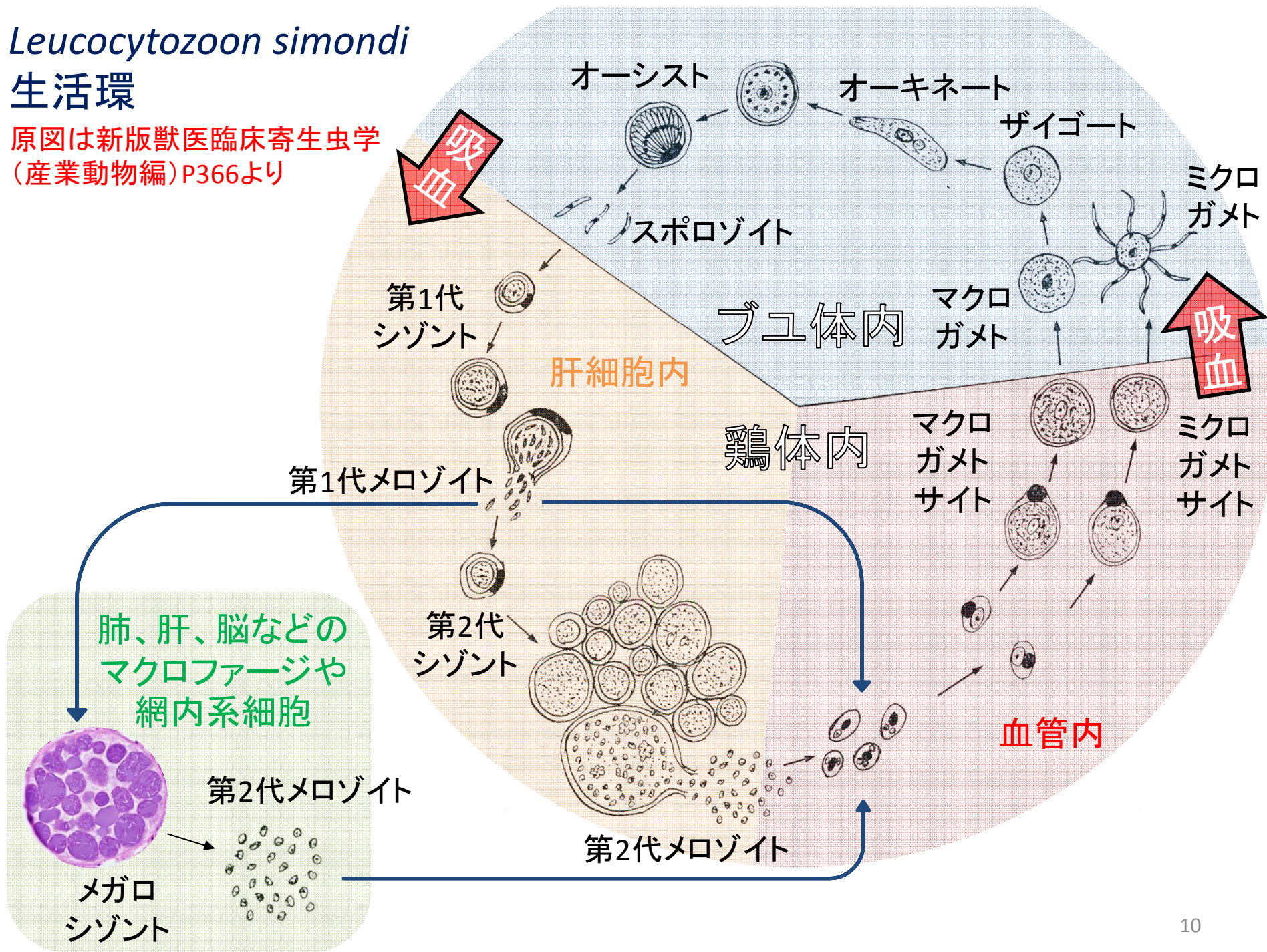
### *Leucocytozoon simondi*について

- ・アヒル、ガチョウに感染する種。
- ・ブユが媒介。
- ・症状は元気消失、食欲減退、貧血、出血性腸炎。1～2日で死亡。
- ・肉眼病変は肝臓の腫大、脾臓のうっ血および腫大。
- ・メガロシゾントは脳、肺、脾臓及び心臓など多くの組織で見られる。
- ・カモは感受性が高く、感染ブユへのごく限られた暴露でも死亡する。
- ・潜伏期は約2週間。



# *Leucocytozoon simondi* 生活環

原図は新版獣医臨床寄生虫学  
(産業動物編)P366より

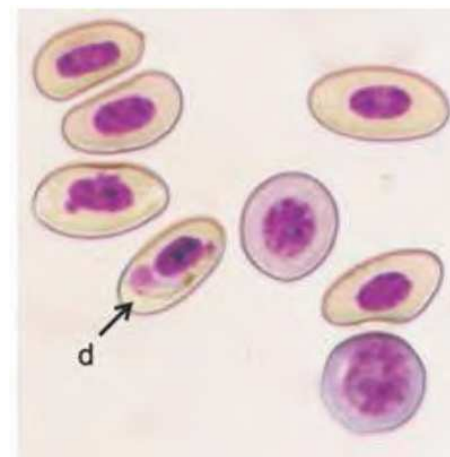


## 会議のコメント

*Plasmodium*属、*Haemoproteus*属、*Leucocytozoon*属について

- ・ 肝臓、脾臓の腫大が全ての属で見られる。
- ・ *Plasmodium*属と*Haemoproteus*属はヘモイゾン(色素)を産生するため、諸臓器は肉眼的に黒色化
- ・ *Leucocytozoon*属寄生赤血球は構造の変化が顕著

	臨床症状	色素	赤血球の変形
<i>Plasmodium</i> 属	重度	産生	軽度 核の移動
<i>Haemoproteus</i> 属	軽度	産生	軽度 核の移動
<i>Leucocytozoon</i> 属	重度	—	重度 核の偏在、 変形



*P. jaxtanucleare*の  
血液塗抹標本写真  
(d:ガメトサイト)

(松林 鶏病研究会報  
2014, 50, 27-29より)